



日本国際飢餓対策機構(Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH) は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体 (NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人材育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation) の一員として、20ヵ国 60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

飢餓対策ニュース 第318号 発行日 2016年12月20日 (毎月20日発行) 定価 15円

1 分間に17人 (内12 人が子ども)
1 日に2 万5,000 人
1 年間では約1,000 万人が
飢えのために生命を失っています。



一般財団法人

日本国際飢餓対策機構

2017 1 No.318

飢餓対策ニュース

わたしから始める、世界が変わる



心に蓄える一粒の種

日本国際飢餓対策機構 理事長 岩橋竜介

新年おめでとうございます。昨年も皆様の尊いご支援をいただき、世界の飢餓・貧困にあえぐ方々に愛の手を差し伸べ、物心両面で必要に応えることができたことを心から感謝いたします。

さて世界的な異常気象やそれによる自然災害が多発している中で、危機感を覚えた人たちが、あるプロジェクトに取り組みました。それが「スヴァールバル世界種子貯蔵庫 (Svalbard Global Seed Vault)」です。ベント・スコウマンが提唱し、あのビル・ゲイツが主導して、2008年2月26日にノルウェーのスピッツベルゲン島にこの施設は建設され操業を開始しました。「種子の箱舟計画」と言われるこのプロジェクトは、今後の大規模な自然災害や病気の蔓延、紛争による農作物の被害が甚大になり作物の絶滅が懸念される時に、それらの作物を絶滅から救い保存することを目的としています。マイナス18～20度に保たれた貯蔵庫に300万種の種子の保存が可能であり、地球温暖化が進んでも永久凍土の中にあるこの施設はマイナス4度が保たれ、しかも海拔120メートルにあるので、海面上昇があっても被害を免れると考えています。

画期的で素晴らしい計画です。しかし一方で、そのような

自然災害の原因となる地球温暖化や農地の荒廃をもたらす紛争を食い止めることに、どれほど努力がなされているでしょうか。まるで、車が山道のカーブを曲がりきれずに谷底に転落する重大事故の多い場所があって、そこで怪我人を助けなければならない時に、事故の際のためにと谷底に病院を作るようなものです。確かに病院はけが人を救うためには必要なものですが、もっとしなければいけないのはその山道そのものの調査と整備ではないでしょうか。

荒廃した世界のために種子を保存しておくこと。それは大切なことだと思います。しかしもっと大切なことは、その危機的な世界に生きる私たち一人ひとりの心ではないでしょうか。巨大プロジェクトで種子を大量に蓄えておくことも必要でしょう。けれどもその前に、私たち一人ひとりの小さな心に、小さな愛の種を一粒蓄えること、そしてそれを自分以外の誰かのために分かち合い育てる時に、それは冷たい貯蔵庫に蓄えておく何百万の種よりももっと価値あるものになるはずなのです。今のこの時代だからこそ、あなたや私のあたたかい心に、小さな愛の種を蓄えましょう。そして蒔いて育てましょう。きっと素晴らしい実りが、収穫があるはずです。

ONE WORLD FESTIVAL

西日本最大の国際協力のお祭り

ワン・ワールド・フェスティバル 2017

**JIFH も出展! ぜひご来会ください
ボランティアも募集しています**

今回も 100 以上の団体が出展。防災アクション「脱出ゲーム」や扇町公園でのスポーツ大会など、新しい企画も用意しています。当日ボランティア募集中!

日時: 2月4(土)・5日(日) 朝 10 - 17 時

会場: カンテレ扇町スクエア、北区民センター
扇町公園の3会場

HP <http://www.interpeople.or.jp/owf/>

2017 年 新春企画

大人気の紅茶2種とハンガーゼロ・レギュラーコーヒーのセット

①フルーツフレーバー ¥800

②キャラメルフレーバー ¥800

100%セイロン紅茶: ティーバッグ 2.5 g × 各 11 個
合計 22 個入り

③レギュラーコーヒー モカブレンド ¥930 (200g)

①②③合計 2,530 円 + 送料 800 円 合計 3,330 円
のところ税込 3,000 円 (但し北海道、沖縄、離島は送料 800 円加算) でお届け。



【問合せ】キングダムビジネス

〒540-0026 大阪市中央区内本町1-4-12NPO ビル402

TEL : 06-6755-4877 FAX : 06-6755-4888

メール: customer@kbwin-win.org

Web: キングダムビジネスで検索。

昨年もキングダムビジネスを通じて、JIFH の支援にご協力をいただき感謝いたします。

チャイルドサポーター
専用ホームページを開設
<https://child.jifh.org>



チャイルドサポーター (世界里親会) 専用ホームページがオープン! スマートフォンやタブレット端末からの閲覧もできます。現地のレポートや事務局からのお知らせなどを配信します。1 人の子どもを 1 人あるいはグループで支援して頂く「子ども支援」(4000 円〜) に加えて、専用ホームページからは活動全般を応援していただける「活動を支援」(1000 円〜) が加わりました。クレジット決済も可能です。子どもたちを取り巻く環境の改善や地域の自立のためにご協力よろしくお願いたします。

2017年JIFH 海外サマーキャンプのお知らせ

8月中旬にボリビアで開催いたします。詳しくは東京事務所まで。
問い合わせ ☎ 03 (3518) 0781 jifhtokyo@gmail.com

ハンガーゼロ
サポーターを
大募集中!!

現在までに
4258 名

今すぐ▶▶▶
各種支援の
お申し込み
ができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類等を送らせていただきます。
お電話でも申し込みできます。各事務所までおかけ下さい。

- ☐ クリスマス募金に協力します。
一時募金 () 円
- ☐ ハンガーゼロ・サポーターとして協力します。
毎月 () 円 (1 円 1,000 円)
- ☐ チャイルド・サポーター (世界里親会) になりたいので説明書 (申込書) を送ってください。
- ☐ 海外スタッフ・サポーターとして協力します。
毎月 () 円 (1 円 1,000 円)
- ☐ JIFH サポーターとして協力します。
毎月 () 円 (1 円 500 円)
- ☐ 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
- ☐ その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

フリガナ 氏名: 男・女

〒 住所:

(電話)

▼申込日: 年 月 日 ▼NL 318 号

FAX・072-920-2155

■発行者 岩橋竜介

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

ハンガーゼロ
で検索!

Web サイトアドレス <http://www.jifh.org/>
e メールアドレス general@jifh.org
フェイスブック <https://www.facebook.com/hungerzero>

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイトで

●郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構

●他の金融機関からの自動振替 ●クレジット、デジタルコンビニ

今すぐ
募金
ができます!

銀行からの自動振替
ゆうちょ銀行
その他の金融機関

クレジットカード決済
VISA

コンビニ決済で募金
ファミマート
セブンイレブン
ローソン
ミニストップ

かざして募金

大 阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1
TEL (072) 920-2225 FAX (072) 920-2155
東 京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 517 号室
TEL (03) 3518-0781 FAX (03) 3518-0782
東 北 〒980-0012 仙台市青葉区錦町 1-13-6 エマオ 2 階 E
TEL (022) 217-4611 FAX (022) 217-6651
愛 知 〒460-0012 名古屋市中区千代田 2-19-16 千代田ビル 3F
TEL (052) 265-7101 FAX (052) 265-7132
広 島 〒730-0036 広島市中区袋町 4-8 CLC ブックス 2F
TEL (082) 546-9036 FAX (082) 546-9037
沖 縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202 号
TEL (098) 943-9215 FAX (098) 943-9216
U S A Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL (510) 568-4939 FAX (510) 293-0940

毎月、飢餓対策ニュースを皆様にお届けするため、ひばり障害者作業所 (八尾市)、生活愛、関西地区のボランティアの皆様が発送作業の協力をして下さっています。

「かざして募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル (株) 経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

★Tポイントを利用して「南スーダン・ンブイ小学校給食支援」ができます。現在までに288078ポイント(円)のご協力(2853件)がありました。募金はTポイント募金で検索

わたしから始める、世界が変わる

昨年も支援者の皆様が「わたしから始める、世界が変わる」に取り組んで、飢餓と貧困、災害に苦しむ人々や子どもたちの教育などを応援してくださいましたことを感謝いたします。新しい一年もぜひ、この運動を継続していただき、支援の輪を広げていただければと思います。今回の特集では「わたしから始めた」方々の声も加えて、具体例を紹介させていただきます。

参加して“始める”

●世界食料デーに参加する

毎年秋行われる日本各地の「世界食料デー大会」に参加して現地からの報告を聞く。ボランティアとして運営に加わる。



【食料デー名古屋大会／斉藤愛理さん⑥と吉野百香さん】

初めはとても緊張しましたが、可愛いボリビアの民族衣装を着せてもらって、幸せいっぱいでした。ゲストの小西さん、ダンツさんのお話も心に響くものばかりで、たくさんのことを学び、感銘を受けました。この大会を通して、改めて食べ物のありがたみを知りました。ボランティアで司会を務めさせて頂けて光栄でした。

●海外サマーキャンプや研修に行く

JIFHが毎年夏に行う「海外サマーキャンプ」に参加して、活動地の人々の生活を体験し国際協力の実際を知る。JIFHのハンガーゼロ・ファシリテータートレーニングに参加して、海外協力の専門的な学びをする。

★今年のサマーキャンプ(8月)はボリビアを予定しています。現地には小西駐在員がいます。

●学校での講演に参加して

【大阪府摂津市の中学校】

中学校で講演してくれてありがとうございました。大きくなったら僕もお手伝いしたいと思います。(JIFHサポーターに申し込み)

【秋の修養会】

Manamiさんのステージと講演は、本当に多くのことを考

えさせられました。私たちも元気をもらいました。田村さんの講演で、愛とは行動をとまなうと聴いたとき、私たちにできる愛はまず知ることからだと思います。飢餓問題などに関心を持つこと、そして豊かな生活の中で生かされていることに感謝、そして希望を持ち続けようと思いました。(山口県・梅光学院中学校・高等学校 生徒代表)

●国際協力イベントに参加する

各地で行われるワンワールドフェスティバル(2月大阪)やグローバルフェスタ(10月東京)、ワールドコラボフェスタ(10月名古屋)などの国際協力フェスティバルにボランティアとして参加する。

まずは自分の地域でどのような国際協力団体や催しがあるかを調べてみましょう。各事務所におたずねください。

●JIFH事務所イベント

【30代男性の参加者】

緊急支援ワークショップ、世界の飢餓の現状、ファシリテータートレーニング、映画を見てディスカッションなど、どの会も楽しくて勉強になります。(東京事務所にて)

行動して“始める”

●企画して実行する

JIFHのスタッフを学校や団体に招いて世界の現状についての話を聞く。JIFHの親善大使を招いて、チャリティイベントを企画する。

学校の文化祭などで飢餓問題の啓発活動や写真パネル、国際児童画の展示、飢餓問題のワークショップなどを行って関心を深める。

●ネットを活用する

自分のホームページやブログ、フェイスブックなどのSNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用して飢餓の現状を伝え、支援参加の輪を広げる。



生活の中から“始める”

●『本deリンク』で支援する

JIFH愛知事務所では送られた本やCD・ゲームソフトを換金して、飢餓・貧困に苦しむ人々の支援に用いさせて頂いています。引っ越し、大掃除の際にもぜひお送りください。

【2016年実績】100,473円

(内訳: 本833冊、CD208冊、DVD3枚)

※破れや汚れ、書き込みのある書籍、個人出版、文学全集は換金対象外です。CDやDVDのケース割れ、ジャケット、歌詞カード不備、海賊版、個人用、カセットテープやVHSビデオも不可です。

【支援者の声】

ささやかですが何かのお役に立てるなら幸いです。これからも皆様のお働きを応援します。

●書き損じはがきで応援する(年賀状也大歓迎)

各事務所では、未投函のはがきを換金して海外スタッフ支援のために用いさせて頂いています。

【2016年集計】※ハガキは日本郵便のものに限ります

はがき: 160,534円分の切手に換金。

未使用切手: 298,463円分。国内外の通信費軽減に活用。

【支援者の声】

「大掃除をしていて出てきました。古い物も使って頂けると聞き送ります」

「亡き父が集めていた切手ですが、有効に使って頂けるJIFHに送ります。活用ください」

「小学校の皆で、書き損じはがきを集めました。『私にも



できる』事で役に立って良かったです」

●ハンガーゼロ自動販売機を利用・設置する

飲み物を買うと1本につき10円がアフリカの人々に寄付されます。また防災対応のハンガーゼロ自販機を設置していただくと、10円の寄付と共に緊急災害時の備蓄用としてパンの缶詰、水各96個が無償で提供されます。現在、全国で100台が稼働になりました。さらに設置して下さる方を求めています。

【2016年募金実績】2,776,810円

設置のご相談は大阪事務所までどうぞ。設置費用は必要ありません。

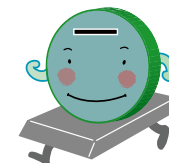
【100台目 設置者さんの声】

12月5日(月)兵庫県宝塚市にある宝塚栄光教会に100台目となる「ハンガーゼロ自販機」が設置されました。「ハンガーゼロ自販機は、教会が世界の食料問題にも関心をもって取り組んでいることを地域に知っていただく機会になる。教会のメンバーも、道行く人も自販機で買うことで社会貢献している意識をもってもらえたら」と岩間洋牧師(写真)が話してくださいました。



●募金箱を家庭や職場に置く

小銭と思われるお金も、飢餓・貧困に苦しむ人々にとっては何倍もの価値を持ちます。募金箱は、各事務所にお問合せください。



●フェアトレードの商品を購入する

開発途上国の生産者から適正な価格で買い取られた商品を扱う会社(キングダムビジネス)から買って支援する。

(注: 2016年、JIFH に約30万円の募金がありました)

【購入者の声】

ものすごい手の込んでいる作品が届き、これほどのものとはと驚きました。制作された方にくれぐれも宜しくお伝えください。(バングラデシュ・アーロンの手作りポシェットを購入された方)



絵・みなみなみ

募金を“始める”

※募金方法は郵便振替、郵便・銀行からの自動引落しの他、ウェブサイトからクレジットカード、コンビニ決済などがご利用できます

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 「JIFHサポーター」になる。 | (一〇 500円/月) |
| 「ハンガーゼロサポーター」になる。 | (一〇1000円/月) |
| 「海外スタッフサポーター」になる。 | (一〇1000円/月) |
| 「チャイルドサポーター」になる。 | (里子一人4000円/月) |
| 「かざして募金」スマートフォンやPCから支援する。 | |
| 「Tポイント募金」Tカードの保有ポイントで募金する。 | |



JIFHの各地の事務所にお気軽にお立ち寄りください。各種募金の受付や支援イベントのご相談などお待ちしています。

学校に行けない子どもたち

①
ボリビアの子どもたち



ここはボリビアの山の上
富士山より高いところです
みんな、今日は学校はないの？



②
学校が遠すぎて行けないんだ



③
子どもも家畜の世話や畑の仕事をしなくちゃいけないから行けないんだ



④
女の子は学校に行かなくていいと言われたから行けないの

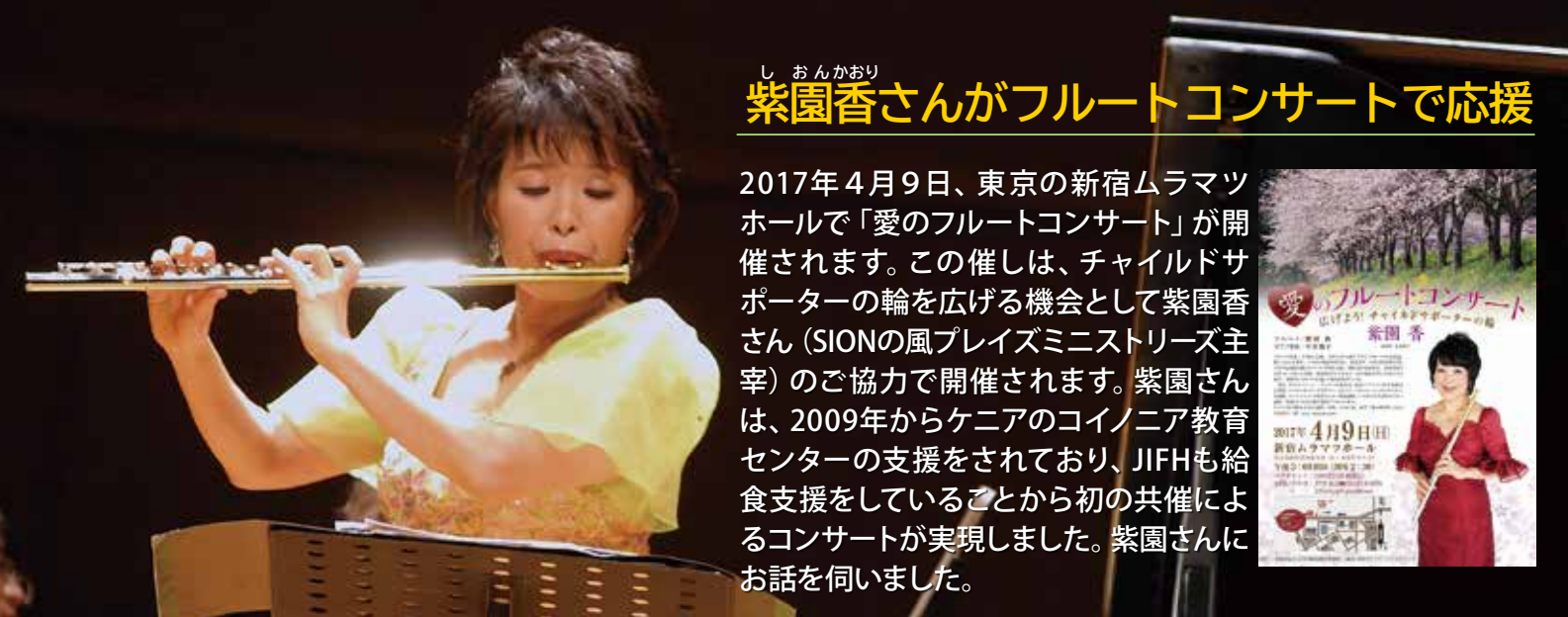


⑤
そんなんだ... じゃあみんなは将来は何になりたい？



⑥
勉強のおかげで可能性が広がって今は将来の希望もあるんだよ





し おんかおり 紫園香さんがフルートコンサートで応援

2017年4月9日、東京の新宿ムラマツホールで「愛のフルートコンサート」が開催されます。この催しは、チャイルドサポーターの輪を広げる機会として紫園香さん（SIONの風プレイズミニストリーズ主宰）のご協力で開催されます。紫園さんは、2009年からケニアのコイノニア教育センターの支援をされており、JIFHも給食支援をしていることから初の共催によるコンサートが実現しました。紫園さんにお話を伺いました。



教育で身についたものは決して無くならない

Q 紫園さんがケニアのコイノニア教育センターやJIFHの応援を始められたきっかけは？

2008年にコイノニア校長の市橋さらさんが養子のリベカちゃんを連れて帰国された時、リベカちゃんがフルートを習いに来ていました。そしてさらさんから、コイノニアの子どもたちが思春期を迎

奏会も開いたんです。

その時、コイノニア教育センターは子どもの数が増え、新しい校舎を持ちたいと祈っておられることを知って、日本にいてできることで応援を始めようと思いました。それはチャリティーコンサートを全国展開して、学校用地購入資金を贈ることです。

一方でJIFHでもコイノニアを応援してくださっていることを聞きました。私は以前からアフリカやアジアの子どものために音楽を通して何かお役に立ちたいと思っていましたので、思い切って理事長とお話しさせて頂いたのがJIFHと関わるきっかけです。

音楽には力があります

Q 『愛の風がきこえる』という著作の中で「教育がないと人生は輝かない」と書いておられますが。

若い頃に父の会社が倒産して、フルートと圧力鍋だけをもって家を出るような経験をしました。準備していたドイツ留学も断念せざるを得ませんでした。その時母が言ってくれた、「パパの会社がダメになって全部なくなってしまうけど、^{かおり}香にかけた教育はビクとも

しなかったわね」という言葉が強く心に残ったんです。私も「確かにそうだなあ、モノがなくなっても教育で身につけたものは無くならない」と実感しました。

当時は留学ができなくなり正直がっかりしましたが、途上国の子どもたちは専門教育どころか、最初から学校に行けない、行けても続けられない。スラムに生まれたら一生スラム、人生が決まってしまうような状況にある。その中でコイノニアの子どもたちには学校ができたことで新しいチャレンジが生まれている。そしてスラムの中から地域を変えようとする子どもたちが育っている、そういう姿を見た時に、教育って凄いな、人を内側から動かして次の世代を作っていくって思いました。だから教育はやりがいがあります。

言葉で「元気出して」って言うのもうまく伝えられないこともあり、音楽では自然に気持ちを届けられることができますよね。涙が出て楽になったりする。音楽の持つ力ですね。ケニア、また世界中の子どもたちにも、良い音楽をたくさん聴いて健やかに成長してほしいと心から願っています。

♪ 4月のコンサートについてはJIFH東京事務所Tel.03(3518)0781まで



える中で心の養いのために音楽を必要としているという話を聞きました。一度行ってみようと2009年に中古のフルートを20本持って、初めてケニアに行きました。そこで10日余りの間でしたが、子どもたちにフルートを教えました。そして学校の先生方にも指導の仕方を覚えてもらいました。また一般の方を対象に公開レッスンや演



今年もハンガーゼロ・ファシリテータートレーニングを実施いたします。

日本国際飢餓対策機構が毎年行っている国内でのトレーニングキャンプです。

将来、途上国の人々と共に生き、働きたいと願っておられる方、また世界の諸問題について知りたい方に「飢餓とは何か」、「その原因って」、「自分には何ができるのか」を考える時間を持っていただくことが、このトレーニングの目的です。

1週間、東京基督教大学をお借りしてじっくり学び、また体験します。

一方的に講師の話を聞くだけでなく、グループでの話し合いも行います。目からうろこ、あなたの視野や価値観が大きく変わることでしょう。高校生以上であればどなたでも参加していただけます。

詳細はお問い合わせください。

【昨年の参加者の感想から】

将来の目標

世界の飢餓問題について学ぼうと思い参加しました。どのようにして飢餓が起こるのか、飢餓は防ぐことができるのか、また、先進国は飢餓には関係ないのか。私が持っていた様々な疑問が解決しました。飢餓問題のほかに、ファシリテーターとは何か、ファシリテーターには何が求められるかを一週間かけて学ぶことができ、将来は海外で国際協力がしたいという私の目標を具体的なものにすることができました。（三浦初音）

一人の存在は小さくない

JIFH のキャッチコピーは、「わたしから始める、世界が変わる」です。今回のファシトレを通して、このことばが真実だと思えるよう



になりました。そして、まず自分自身が変わらないといけないということ、また私一人の存在は決して小さくないのだということを学びました。（柳橋宏祐）

世界と自分を知る機会

今回のファシトレでは、世界の貧困問題や飢餓についての沢山の新しい気づきと、またそのような問題から目をそらしていた自分への気づきも与えてくれました。

世界の現状を知って、世界の痛みや自分の弱さに気づいたことは初めの一步にすぎず、これから自分が変わっていくためには、その気づきに応答して、行動していく必要があるということを強く実感しました。「わたしから始める、世界が変わる」その言葉に生きていきたいです。（対馬ひとみ）

【日程】 2017年3月20日⑨～3月24日⑤
【場所】 東京基督教大学
〒270-1347 千葉県印西市内野3-301-5-1
【定員】 15名
【費用】 30,000円（食費、宿泊費、テキスト代等含む）
【申込み・問合せ先】
TEL: 03-3518-0781 FAX: 03-3518-0782
メール: jifhtokyo@gmail.com
日本国際飢餓対策機構
東京事務所（ファシリテータートレーニング担当）

